

# 豊川市污水適正処理構想（案）

下水道等の污水处理施設は、公共用水域の水質保全を主な目的として、水道や電気等と同様に、都市、農山村を問わず、生活基盤として欠かせないライフラインであり、早期の普及が求められています。また、市民の環境意識が高まる中で、健全な水循環、良好な水環境の形成や、安全・快適なまちづくりを行う上で不可欠な施設としての役割をもっています。

## ・ 全県域污水適正処理構想との関係

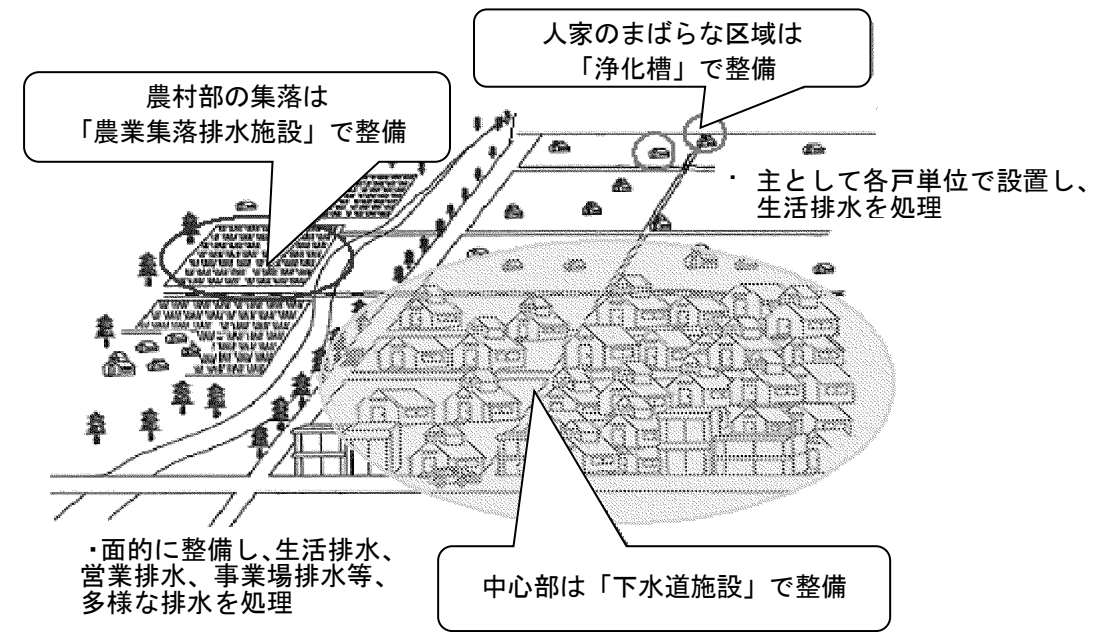
全県域污水適正処理構想は、市街地や農山村地域を含めた県下全域の污水处理施設の整備を計画的・効率的に実施することを目的とし、市町村が作成した構想を県が取りまとめ公表することになっています。豊川市では、この基になる豊川市污水適正処理構想を作成します。

## ・ 污水处理施設の種類

污水处理施設には、下水道施設、農業集落排水施設及び浄化槽等があり、市街地、農山村等を含めた市全域で効率的な污水处理施設の整備を推進するためには、各種施設の特性を踏まえる必要があります。さらに、経済比較を基本としつつ、水質保全効果、污水处理方法等の地域特性や地域住民の意向を考慮し、効率的かつ適正な整備手法を選定することが必要不可欠です。

## ・ 構想見直しの目的

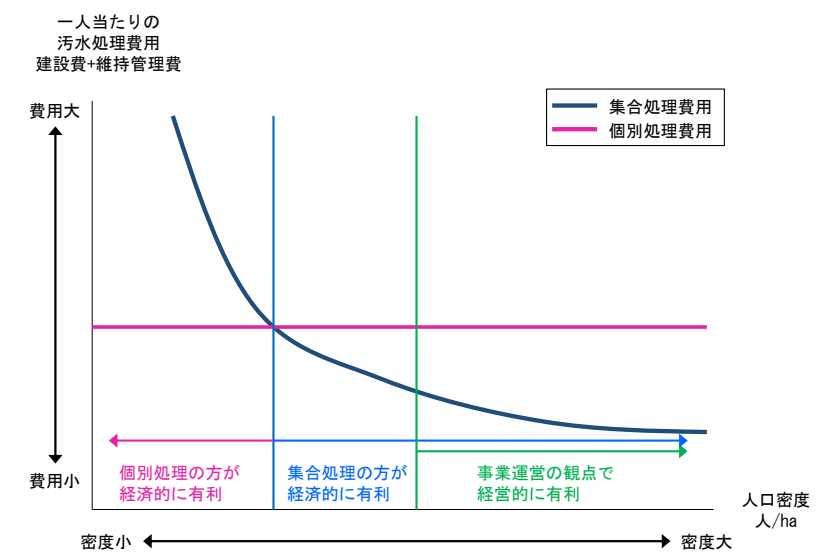
近年、人口減少や水需要の変化、新規の施設整備から既存施設の改築更新や維持管理への移行など、社会情勢や経済情勢の変化により、污水处理施設の整備を取り巻く環境は非常に厳しいものになってきています。このような状況において、污水处理施設の持続可能な事業運営を確保していくため、污水处理施設の効率的かつ効果的な整備に向けた豊川市污水適正処理構想の見直しを行います。



污水处理施設の概念図

回数	策定年度	目的
当初	平成 8 年度	計画的・効率的な污水处理のあるべき姿を示す
第 1 回	平成 15 年度	費用関数の見直し 污水施設の耐用年数の見直し
第 2 回	平成 23 年度	人口減少などの社会情勢の変化の反映 污水处理施設間の連携強化 住民意向の把握 費用関数の見直し 市町村合併の反映
第 3 回	平成 28 年度	都道府県構想策定マニュアルの公表による 時間軸を考慮した区域の見直し
第 4 回 (今回)	令和 4 年度 (予定)	広域化・共同化の積極的な推進 事業運営の観点を勘案した区域の徹底的な見直し

全県域污水適正処理構想の履歴



集合処理と個別処理の費用比較のイメージ図